

私たちは文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会
は設立50周年を迎えました

季刊 みる・きく・ふれる 文化財

おうみ文化財通信

Information of Cultural Heritage in OHMI

58

vol.

2024 Winter

【調査速報】 戦国時代の石垣を発見!! - 近江八幡市阿弥陀寺遺跡 -

【大学連携事業】 京都橘大学との連携協定を締結しました。

【普及啓発事業】 県内中学生の職場体験を受け入れています。

【講師派遣事業】 滋賀リビングカルチャー倶楽部と連携しています。

【お知らせ】 2024年1月～3月 催物案内



● 阿弥陀寺遺跡

【調査速報】 戦国時代の石垣を発見!!

おうみ はちまんし あみだじ

— 近江八幡市阿弥陀寺遺跡 —



写真1 阿弥陀寺遺跡の石垣 (写真提供: 滋賀県)

◆阿弥陀寺遺跡は、近江八幡市北津田町・島町に所在する中世寺院跡です。砂防工事に伴う発掘調査を令和4年度から実施しています。

◆遺跡名の由来となっている阿弥陀寺は、平安時代前期(約1,150年前)に大嶋・奥津嶋神社の神宮寺として創建されたといわれています。

現在は本堂とそこへ至る石段・山門が残っていますが、

かつての姿はわかっていませんでした。

◆今年度の調査では、戦国時代に構築された石垣が見つかり、中世の阿弥陀寺の姿の一端を垣間見ることができました。

また、戦国時代以降、城郭にもみられる優れた石垣構築技術のルーツが中世山岳寺院にあり、その技術がうかがえる発見となりました。



写真2 石垣(正面)

●見つかった石垣

石垣は、高さ約1.5m・幅約14mにわたって見つかりました。この石垣は最下段の基底石(写真2A・B)は残っているものの、それより上部(写真2C・D)は失われ、裏込めが見える状況でした。

詳しく見ると、基底石はいずれも面をそろえてきれいになっていますが、Aは高さ40～80cm、幅90～120cm程度と大きく、Bはそれより明らかに小さい石が並んでいます。また、裏込めについては、Cは均等大きさであるのに対して、Dは小さい石に大きい石が含まれています。

こうした状況から、Aは本来の状態、Cは正面の石が崩れた状態と考えられます。また、B・DはAに連なる石垣の一部崩壊により、石垣を補修したもので、Dは崩壊した石をそのまま裏込めにしたと思われます。

●石垣が造られた時期

裏込めDからは15世紀末～16世紀前半の土器がみつき、補修石垣B・Dの時期は16世紀前半以降、A・Cの石垣はそれより前のものと考えられます。

●石垣構築技術～山岳寺院から戦国期の城郭へ～

城郭への本格的な石垣の導入は安土城築城からとされていますが、近江ではそれ以前から石垣を持つ城が築かれてきました。しかし当時、観音寺城の石垣普請を金剛輪寺に求めた記録(1556年)が残っていることからわかるように、優れた石垣構築技術を持つ工人集団は有力寺院の支配下にありました。

近江八幡市域では、水荃岡山城(1508～1525年)において、城郭としては近江でも最初期の石垣が築かれています。この石垣と阿弥陀寺遺跡の石垣とは、積み方や規模がよく似ており、構築時期も一致します。つまり、観音寺城よりも数十年も前の岡山築城に、阿弥陀寺の石垣を構築した工人集団が関係している可能性があるのです。

今回確認された阿弥陀寺の石垣は、安土城以降に完成される城郭の石垣構築技術のルーツの一つと言えます。今回の調査を通じて、近江の山岳寺院から城郭へ石垣構築技術が取り入れられていく過程を示す、重要な知見を得ることができました。

(写真提供: 滋賀県)



写真3 石垣(側面)



(平坦面上の建物や平坦面の出入口等の詳細は不明なため、想像)



どきっち



しがぶんちゃん

←当協会ホームページからも、詳細資料をご覧くださいませ。

京都橘大学との連携協定を締結しました。



令和5年11月13日に「公益財団法人滋賀県文化財保護協会と京都橘大学の連携・協力に関する協定」を京都橘大学と締結しました。

本協定は、将来を担う学生が学ぶ《大学》と文化財の調査・研究・保存・活用の最前線を担う《文化財調査法人》がタッグを組んで、課題解決に取り組んでいくことを目的としています。

大学と文化財調査法人が、文化財を軸として包括的に連携する全国的にも例のない新しい取り組みです。



文化財の保存と活用に関する実践的な経験を積む機会を、双方が学生へ継続的に提供していきます。



締結式の様子



これから京都橘大学と一丸となって、地域文化に貢献できる人材の育成を進め、文化財の調査・研究・保存・活用の「滋賀モデル」と呼ばれるように頑張っていきます。

県内中学生の職場体験を受け入れています。



当協会では、文化財保護法に基づいて、工事等の開発に先立つ遺跡の発掘調査を行い、写真や図面で記録保存した成果を整理し、県民の皆様に還元するべく発掘調査報告書を作成する業務を行っています。さらに成果還元の一環として、出土品を活用した職場体験の受け入れを行っています。

今年も県内の中学校7校から、1・2年生が職場体験に来ました！ 遺跡から出土した土器や石器など文化財に直接触れながらのメニューは、当協会ならではの。最初から文化財に興味があって参加する生徒たちだけではなく、体験を機に文化財に興味を持ってくれる生徒たちもいます。ここで体験したことが、皆さんの人生の糧になってくれることを願っています。今回は7月に5日間来訪の「草津市立玉川中学校」2年生4人の体験の様子を、一部ご紹介します。



▶【注記作業】土器に出土地点等を墨書します。

◇古市さん(写真上)：土器には墨と筆で米粒より少し小さい字で書きこみます。いきなりは難しいので、まずは練習しているところです。どんどん上手になっていきましたね。



◇赤尾さん(写真下)：いよいよ実際の土器に書き込みます。紙に書くのと違う感覚を確かめながら、”緊張する～”と言いながらも、集中して書いてくれました。文化財に親近感を持ってくれたようです。



▶【接合作業】破損した土器を接着剤でつけて元の形に近づけます。

◇吉田さん(写真上)：いろいろな作業を丁寧に、器用にこなしてくれました。歴史嫌いだったのに好きになったと言ってくれたのが印象的です。



◇四本さん(写真下)：出土品はたいていバラバラの状態で見つかるので、元の形をイメージしながら、破片を一つ一つ接合していきます。根気のいる作業ですが、積極的に取り組んでくれました。

当協会は、県からの委託により、県内で発掘された遺物や調査記録の整理・保管および文化財に関する普及啓発を行う「滋賀県埋蔵文化財センター」の管理運営を行っており、この業務のひとつとして職場体験の受け入れを行っています。

【講師派遣事業】

滋賀リビングカルチャー倶楽部と連携しています。

滋賀リビングカルチャー倶楽部は、フリーペーパー「リビング滋賀」を発行している滋賀リビング新聞社が運営しているカルチャースクールです。浜大津にある明日都浜大津に教室を持ち、芸術からクラフト系の講座、語学や美容健康に関する講座、資格取得の講座など幅広い講座を展開しています。

当協会は、2017年から継続して講座に講師派遣を行っており、カルチャースクールの中で、唯一滋賀県の歴史を学べる講座となっています。内容も縄文時代から近世まで、そして滋賀県内の遺跡・遺物の話から戦国武将、現在も行われているお祭りのルーツの話と幅広く取り上げています。

内容も、座学にとどまらず、テーマを決め、座学と連動した現地探訪の実施や、夏休みの子供の自由研究お手伝い講座などもおこなっています。

今後も幅広い年齢層にアプローチできるような講座を企画して、広く県民の皆様に届けたいと思っております。

2024年も出講する講座が開催される予定です。
詳しくは2024年1～3月滋賀リビング発行のフリーペーパー「リビング滋賀」をご覧ください。



リビング現地探訪の様子（膳所城下町）

【お知らせ】

2024年1月～3月 催物案内

ホームページでも詳細をご覧ください



まめのぶくん

◆滋賀県立安土城考古博物館主催事業◆ 問合せ TEL：0748-46-2424

*入館は16:30まで。

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
11/22(水)～1/14(日)	9:00～17:00	展示	特別陳列 近江の遺跡発掘調査②「3世紀の萩(ゆき)―稲部遺跡出土の矢入れ具―」	無	不要	入館料	当館 望楼下
1/13(土)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅲ北近江の戦国史を深掘りする!①「京極氏は北近江の戦国史に如何に関わったか?」 講師:太田浩司氏(淡海歴史文化研究所所長)	100名	要	500円	当館 セミナールーム
1/20(土)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅱ近江の遺跡は語る④「瓦が語る飛鳥時代―蜂屋遺跡を中心に―」 講師:福井知樹(滋賀県文化財保護協会)	100名	要	300円	当館 セミナールーム
2/10(土)～4/7(日)	9:00～17:00	展示	第69回企画展・滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展「近江の文化財を継ぐ―修理・複製・復元―」	無	不要	入館料	当館 企画展示室
2/11(日)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅲ北近江の戦国史を深掘りする!②「浅井氏と織田信長との死闘の実像は如何に?」 講師:太田浩司氏(淡海歴史文化研究所所長)	100名	要	500円	当館 セミナールーム
2/17(土)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅱ近江の遺跡は語る⑤「聖武天皇の禾津頓宮を発見か―大津市膳所城下町遺跡の大型掘立柱建物―」 講師:中村智孝(滋賀県文化財保護協会)	100名	要	300円	当館 セミナールーム
3/9(土)	①10:30～ ②15:00～	展示 解説	企画展関連ギャラリートーク	無	不要	入館料	当館 企画展示室
3/9(土)	13:30～15:00	講座	企画展関連講座「復元!紫香楽大仏の鑄造技術」 講師:大道和人(当館学芸員)	100名	要	300円	当館 セミナールーム
3/10(日)	13:30～15:00	講座	連続講座Ⅲ北近江の戦国史を深掘りする!③「羽柴秀吉は如何に北近江を統治したか?」 講師:太田浩司氏(淡海歴史文化研究所所長)	100名	要	500円	当館 セミナールーム
3/17(日)	13:30～15:00	講座	企画展関連講座「(仮)近江の文化財を継ぐ」 講師:坂田さとこ氏(坂田墨珠堂)	100名	要	500円	当館 セミナールーム
3/24(日)	①10:30～12:00 ②14:00～15:30	体験	親子たいけん博物館「ミニ屏風をつくろう!」	10名	要	700円	当館

◇SNS (X) をはじめました!

「しがぶんちゃん」&「どきっち」が発信するXをはじめました!
これからどんどん滋賀県の文化財情報から観光情報、少しマニアックな情報までポストしていきますので、フォローして、いいね♡をしてね。

